



集落営農やNPOと連携した水田地帯における取組

しらおうようにおのかい

おうみはちまんし

白王町鳩の会（滋賀県近江八幡市）

- 多面的機能支払交付金の活動組織と集落営農の組織とが連携し、施設の保全管理、濁水防止・節水管理、景観保全等の活動を効率的に実施。また、これら活動により良好に保全されている農村環境を活用して、農産物のブランド化を推進。
- また、水田魚道の設置等の農村環境保全活動については、NPOと連携して実施。これにより、活動組織にとっては、農家だけでは思いつかない知恵が得られるほか、NPOから情報発信が行われるため、非常に効果的。
- 地域において、「自らの手で資源を保全する」という意識が強まったことが最大の効果。

【地区概要】

- ・取組面積 59ha（田 56ha，畑 3ha）
- ・対象施設
開水路 7.0km、パイプライン 4.0km、
農道 5.0km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、営農組合、自治会、
女性会、子供会、土地改良区、その他
- ・交付金 約2百万円（H29）

（ 農地維持支払
資源向上支払（共同） ）

主な取組

- ・湖上の飛地「権座」の農地では、田船を利用した稲作や水田魚道設置、景観保全活動、さらには良好に保全されている農村景観を活かした農産物のブランド化に取り組む。
- ・地域資源を保全する共同活動と集落営農等の環境こだわり農産物の栽培が相乗効果を発揮し、地域が活性化。



NPOと連携し水田魚道を設置



景観形成活動



環境こだわり酒米の栽培



環境学習の実施